

## アマチュア無線は元祖SNSです！？

アマチュア無線は世界で唯一のコールサインを持つアマチュア無線局同士で交信する元祖SNSです！  
ネットのSNSと異なり、無名、匿名、偽名、愛称などでの交信はありません。  
相手のコールサインが有効なものか否かは総務省のホームページ（無線局等情報検索）で確認出来ます！  
また、コールサインを言わない局は不法無線局ですので無視です。  
（アマチュア無線局はアマチュア無線局としか交信出来ません）

そして、ネットのSNSでは自らの発言（投稿など）がコピー等で拡散されて炎上したりしますが、アマチュア無線（無線通信）は電波法第59条（秘密の保護）で、交信相手（特定の相手局）との交信内容を交信相手以外の局が、その内容を漏らすことが禁じられています。

例えば、A局とB局の交信を聞いていた、交信相手ではないC局が「A局がこんな事言ってたよ」とその交信内容を漏らすと、電波法違反になる可能性があります。  
ちなみに放送局（ラジオ&テレビ）は不特定の相手方に対してなので、内容を漏らしてもOKです！

交信相手は老弱男女問わず様々な方（学生、会社員、公務員、自営業、リタイヤ、その他）です。  
「何を話せば良いの？」と良く質問されますが、基本的には、コールサイン、運用場所（市町村等）、感度明瞭度（RSレポート）、必要に応じ、名前、天気、無線設備などですが、2回目以降からは、興味のある話題（イベント、趣味、グルメ、地域情報など）を話します。

「アマチュア無線」の楽しみ方は、交信以外にも、アンテナ、無線機、各種周辺機器、などの製作、コンテスト参加、クラブ局運用、記念局運用、QSLカードの交換や作成、パソコンの利用、展示会、非常通信、地域のイベントのサポート、講習会（勉強会）、ジャンク市、など様々です。  
「釣り」で言えば、川釣り（ヘラブナ、溪流、鮎、その他）、海釣り（堤防、砂浜、船、その他）、道具製作（竿、ウキ、仕掛け、ルアー、毛ばり、その他）、釣り大会参加、など様々あるのと同じです。

「アマチュア無線」は、周波数にもよりますが、電波伝搬状態（電離層の状態、回折波など）により、普段は交信できない地域の局と交信できることもあるのも魅力です。  
「釣り」で言えば、春夏秋冬、朝昼晩、大潮～小潮、水温などで釣果が変わるのと同じです。

日本はかつて、技術大国とか電子立国とか言われていましたが、その技術者の中にはアマチュア無線技士の方が多く、スペースシャトルや国際宇宙ステーションの宇宙飛行士もアマチュア無線技士が多くいます。総務省や文部省では日本のIT人材育成のためにアマチュア無線を推奨？しています。  
若い方は、電気通信技術に興味を持って頂くきっかけやプロの無線資格を取得して就職や仕事に活用、リタイヤの方は、ボケ防止にアマチュア無線を始めましょう！！